

掛川市・袋井市 新病院建設だより



July 2012 Vol.12

一刻を争う命を救う ～新病院が提供する高度医療～



平成25年4月採用
職員募集

募集内容

職種	助産師・看護師
採用予定人数	50人程度
受験資格	昭和47年4月2日以降に生まれた方で、助産師、看護師の有資格者。 (平成24年度中に資格取得見込みの方を含む)

試験日・試験科目

試験日	8月4日(土)
場所	掛川市立総合病院
試験科目	作文試験、適性検査、面接試験

受付期間

7月2日(月)～8月1日(水)午前8時30分～午後5時(土・日曜日、祝日は除く)。
※郵送の場合は、8月1日(水)必着。

申込用紙の請求

①新病院建設事務組合事務局、掛川市立総合病院経営企画課、②袋井市民病院管理課のいずれかで交付します。
②郵送を希望する方は、電話またはFAXで郵便番号、住所、氏名、電話番号をお知らせください。
③組合ホームページからダウンロードすることができます。

申込方法

申込用紙に必要書類を添えて、
①新病院建設事務組合事務局、②掛川市立総合病院経営企画課、③袋井市民病院管理課のいずれかに持参、または①まで郵送してください。(宛先はこのページの最下段へ)

病院ボランティア募集

平成25年5月に開院予定の中東遠総合医療センターで、ボランティアとして活動しませんか。

ボランティア募集内容

- ・車椅子の移動介助
- ・院内の案内
- ・草取りや簡単な清掃
- ・図書整理
- ・その他



申込方法

当組合、両病院にある「ボランティア申込書」に必要事項を記入し、組合または両病院に提出してください。
申込書は、組合ホームページでもダウンロードできます。

病院ボランティアの心得 (一部抜粋)

- ・すべての患者さんに平等に対応すること。
(特定の患者さんと親しくしないでください。)
- ・患者さんやその家族のプライバシーは厳守すること。
- ・病院内で知り得た情報を外部に漏らさないこと。
- ・医療の専門分野に関する話題には触れないこと。
- ・政治・宗教活動は一切行わないこと。
- ・病院で決められた健康診断を必ず受けること。

病院ボランティアとしての責任と自覚を持ち、お互いに気持ちよく活動しましょう。

ボランティア活動準備会を設置しました

中東遠総合医療センターでのボランティアの活動内容や募集方法を検討するため、「ボランティア活動準備会」を設置しました。

5月10日(第1回目)、6月7日(第2回目)の会議を開催し、病院でのボランティアの活動内容について話し合いました。今後定期的に話し合い、多くの方にボランティアとしてご協力いただけるよう、準備を進めていきます。



活動開始までのスケジュール

- ・平成24年7月からボランティア申込受付
- ・平成25年1月頃ボランティア研修会の開催
- ・平成25年3～4月ボランティア説明会及び実地研修の開催
- ・平成25年4月ボランティア登録
- ・平成25年5月からボランティア活動開始

中東遠総合医療センターでは、地域の皆さんに安全・安心で質の高い医療を提供します。新病院に期待する声をご紹介します。

周産期医療、小児医療に期待

私は、袋井市北部で園児数100人余りを抱える保育園を経営しています。子ども特有の病気により医者にかかる園児が多いわりに近隣に小児科医が少ないため、小児医療と小児救急の必要性を実感しています。また、園児の保護者から妊娠・出産に関わる不安の声も耳にします。



袋井市下山梨 鈴木 孝さん

市民目線で地域医療を守りたい

私たちが毎日の暮らしの中で安心して過ごすためには病院の存在は切り離すことはできません。そんな中、掛川・袋井両市で作る新病院が開院することは大変うれしいことです。先日の市民説明会では、両病院医師による講話の中で、すばらしい医師と最新の医療機器により、この地域の医療が守られることを聞き安心しました。



掛川市杉谷南 村松 篤さん

私は現在「r.a.n.地域医療を育む会」のメンバーの一人として、市民目線で地域医療を守る活動をしています。地域の皆さんがより安心して医療を受けられるよう、一市民として少しでもお役に立てればと思っております。

平成24年7月1日発行



掛川市・袋井市新病院建設事務組合

〒436-0043 掛川市大池2798番地の11(掛川市勤労者福祉会館内)
TEL.0537-61-2700 FAX.0537-61-2701
ホームページアドレス <http://www.shinbyoinkyogi.jp>
Eメールアドレス byoken@city.kakegawa.shizuoka.jp

この広報紙は資源リサイクル推進のため、再生紙を利用しています。

新病院が取り組む医療

新病院では、中東遠地域の基幹病院として質の高い医療を提供していきます。

掛川・袋井両病院の医師にその内容についてお聞きしました。



袋井市立袋井市民病院
医務局長
市橋鋭一 医師

今回は特に脳卒中を中心に紹介したいと思います。

脳卒中はスピードが命です。これを頭に入れていただきたいと思います。

脳卒中の中で、血管が下口口になるのが動脈硬化、その血管が詰まってしまうのが脳梗塞、破れて切れてしまうのが脳出血と言います。特に脳梗塞は時間を争う病気です。脳血管障害の患者さんの約4分の3が脳梗塞であるというデータもあります。

脳卒中は、6時間以内に治療を完了しないと脳が死んでしまいます。新病院では、設備と脳神経外科の医師数が充実しており、迅速な治療が可能になりますので、とにかく早く病院に来ていただ

くことが大切です。

新病院の3階には、脳血管障害の治療のための脳・心臓血管内治療センターをはじめ、脊椎脊髄センター、ICU・CCUやリハビリ部門があります。ここでは脳腫瘍の除去、血管の詰まりや破裂などの治療、脳・脊髄・脳血管に関わる病気の治療ができます。ここに来れば脳卒中は何かなると思っておいただけよう、頑張っていきます。

また、脳卒中治療の最新情報提供と啓発活動も引き続き積極的に行っていく予定です。

新病院の脳・心臓血管内治療センターが、市民にとって「できてよかった」と感謝されるように、県西部の中核病院として、レベルの高い治療を行っていきます。

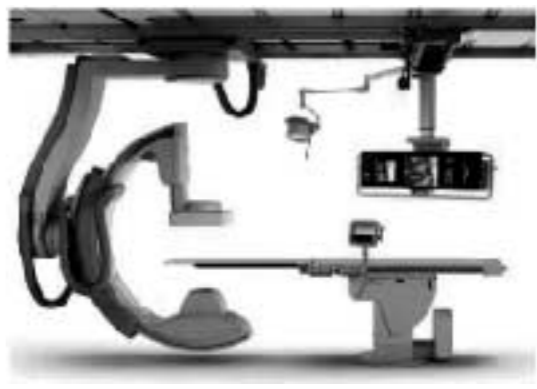
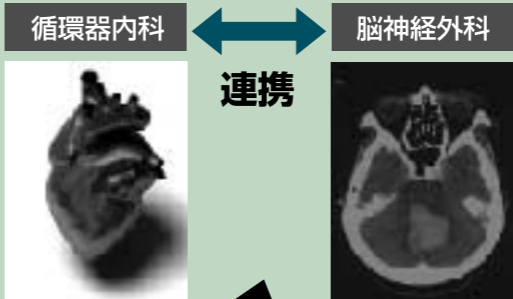
平成25年5月に開院する中東遠総合医療センターで行われる主な医療機能についてご紹介いたします。

脳・心臓血管内治療センター

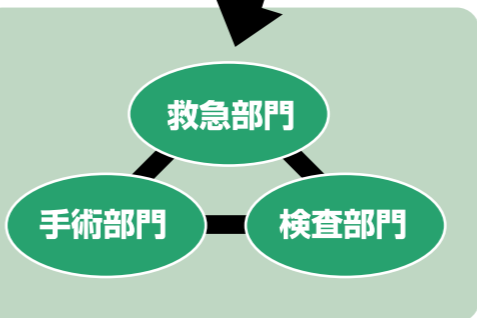
心筋梗塞や脳卒中などの循環器系疾患や脳疾患に対応します。主に循環器内科と脳神経外科が連携し、いつでも迅速に対応できる体制を整備します。新病院の3階には手術室のほか、集中治療室や血管造影撮影室があり、スムーズに検査や治療ができます。

スピードが重要

脳や心臓の疾患は一刻を争う病気です。病院では、24時間365日いつでも対応できる体制を整備し、直ちに治療を開始することにより、ひとりでも多くの患者の命を救います。



血管造影撮影装置 (イメージ)



PETセンター

中東遠総合医療センターで導入するPET/CTは、ごく小さながん細胞も見つけることができる最新の検査機器です。

がんは早期発見することでその後の治療にも大きく影響します。

治療体制も手術による外科的治療のほか放射線治療や抗がん剤治療など最適な組み合わせにより、全ての患者さんに対応できるように体制づくりを進めています。

早期発見が重要

自分の体の状態を知るために、定期的に健診を受けましょう。

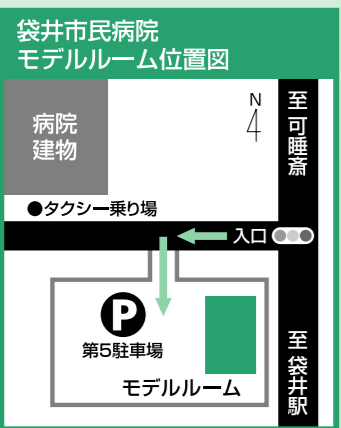
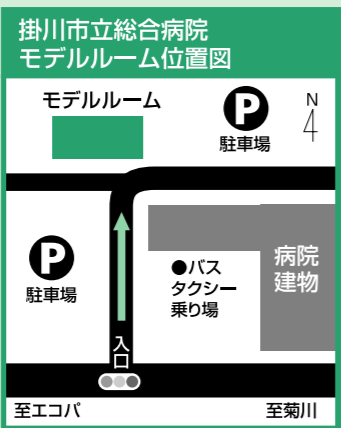


PET/CT撮影イメージ

新病院モデルルーム一般公開中

掛川・袋井の両病院で、モデルルームを一般公開しています。事前の申込みは不要です。皆様のご来場をお待ちしています。

外来ブロック受付
公開期間 8月17日(金)まで
公開日 毎週金・日曜日
公開時間 午前9時～午後5時



新病院には中東遠地区で初めてPET/CT(陽電子放射断層・コンピュータ断層複合装置)が導入され、最小約5mmの(一部のがんを除く)の検出が可能になります。その他最新のMR(磁気共鳴装置)、CT(コンピュータ断層装置)が導入され診断の向

放射線診療には画像診断、放射線治療、血管内治療があります。人口あたりの放射線科医師数は、日本は世界平均の約3分の1ですが、日本の検査件数は世界平均の約2倍あります。中東遠地区の人口あたりの放射線科医師数は全国平均の約2分の1です。最近10年で当院CT検査読影件数は約2倍になっています。掛川、袋井両病院とも少ない放射線科医師で多くの放射線診療業務を行っています。新病院には掛川病院の診断専門医2名、袋井病院の治療専門医1名が赴任しますが、浜松医大などに増員を要請しています。

上が期待されます。

最新の血管撮影装置の導入により心筋梗塞、脳動脈瘤、肝腫瘍などに対する体に負担の少ない血管内治療が可能です。また、最新の放射線治療装置の導入により形態や機能を温存した体に負担の少ない治療が可能です。

診療所や他病院から依頼される当院の画像検査読影件数は最近5年で約2倍になっています。新病院でもこの地域医療への貢献を続けていきます。

また、離れた場所でも診断できる遠隔画像診断システムを導入し、限られた放射線科医師を有効に活用する予定です。将来的にはこのシステムを使用して、診療所や他病院の画像診断のお手伝いができればと思います。現状ではマンパワー不足のため困難です。

両病院職員は日常診療を行いながら新病院準備を進めています。今後皆様のご理解、ご協力をお願いいたします。